

「原子力強化プロジェクト」および「原子力安全文化有識者会議」等の設置について

当社は、島根原子力発電所の点検不備に係る再発防止対策のうち、「原子力安全文化醸成活動の推進」等に資する体制整備として、本日、「原子力強化プロジェクト」および「原子力安全文化有識者会議」を設置しました。

また、不適合管理体制を強化するため、島根原子力発電所において、不適合管理業務を専任で行う担当を本日付で設置しておりますので、併せてお知らせします。

1. 原子力強化プロジェクトの設置（別紙1[PDF:16KB]）

原子力安全文化醸成に関する地元の方のご意見や関係会社・協力会社を含めた発電所員の声を収集・分析し、必要となる施策を検討するため、社長直属の組織である「原子力強化プロジェクト」を設置します。

2. 原子力安全文化有識者会議の設置（別紙2[PDF:13KB]）

原子力強化プロジェクト長の諮問機関として、社外有識者を中心に構成する「原子力安全文化有識者会議」を設置し、「原子力強化プロジェクト」の検討事項等に対し、第三者の視点からの提言をいただきます。

また、提言の概要や原子力安全文化の醸成に向けた取り組み状況について、積極的に公開します。

以上

添付資料

[別紙1:「原子力強化プロジェクト」の設置について](#)  [PDF:16KB]

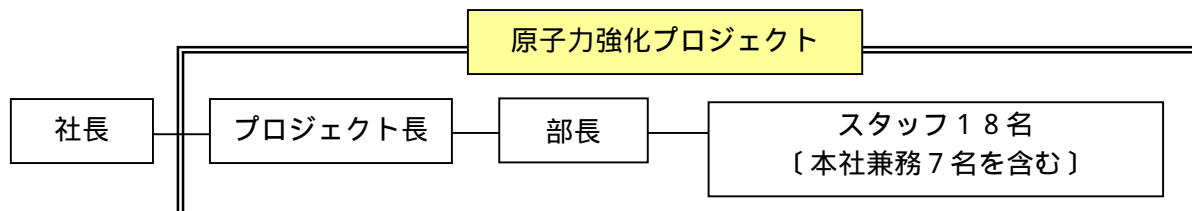
[別紙2:「原子力安全文化有識者会議」の設置について](#)  [PDF:13KB]

関連情報

[原子力発電（環境@エネルギー）](#)

「原子力強化プロジェクト」の設置について

1. プロジェクトの組織体制



2. プロジェクト長

取締役副社長 苅田 知英

3. 設置日

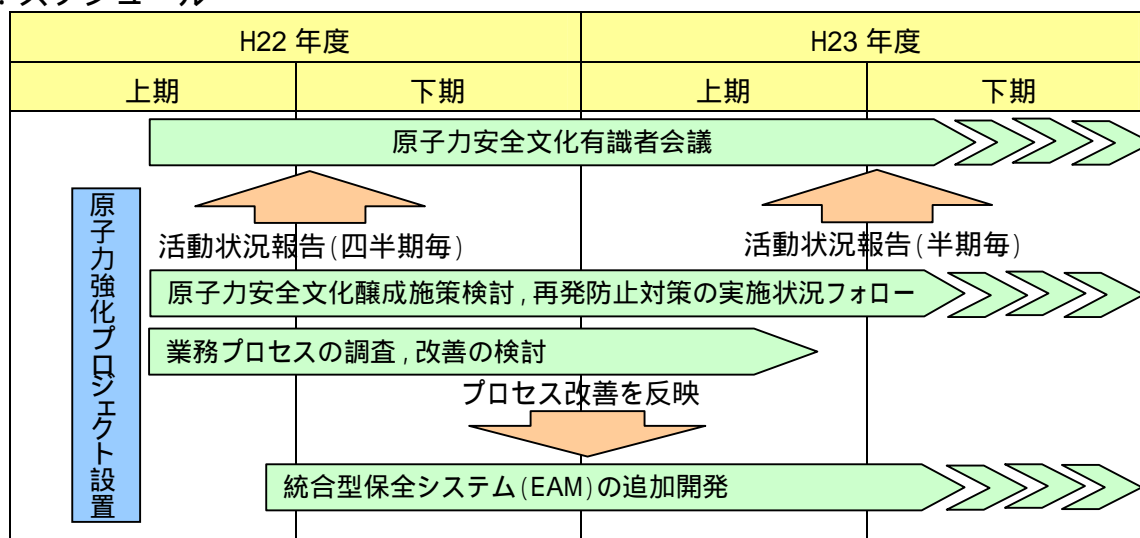
平成22年6月29日(火)

4. 業務内容

原子力の安全文化醸成に関する課題対応として以下内容を実施します。

- ・ 地元の皆さまのご意見や関係会社・協力会社を含めた発電所員の声の収集・分析および原子力安全文化醸成に関する施策の検討
 - ・ 業務プロセス改善活動の支援
 - ・ 統合型保全システム(EAM)の追加開発
 - ・ 再発防止対策の実施状況の把握, 原子力安全文化有識者会議への報告
- () 統合型保全システム(EAM)とは, 保守管理活動全体を管理するシステムで, これまで紙ベースで管理していた膨大な保全データをシステムで管理し, PDCA (計画, 実行, 評価, 改善) サイクルを有効に実現していくもの。

5. スケジュール



以上

「原子力安全文化有識者会議」の設置について

1. 構成

[社外委員] 地元有識者，一般有識者の計 11 名とし，開催テーマに応じて，数名を招聘する。（詳細は下表のとおり）

[社内委員] 開催の都度，幹事である原子力強化プロジェクト長がメンバー（役員 2 名程度）を選定する。

2. 設置日

平成 22 年 6 月 29 日（火）

3. 活動内容

以下の内容について，第三者の視点から提言等をいただきます。

- ・「原子力強化プロジェクト」の施策の検討事項に対する提言
- ・再発防止対策の実施状況の確認・助言

4. 開催頻度

年 2 回程度（初年度は四半期に 1 回程度）

「原子力安全文化有識者会議」社外委員一覧

1. 地元有識者

（50 音順，敬称略）

氏名	役職等
あさぬま のぶお 浅沼 延夫	日本労働組合総連合会島根県連合会顧問 全国労働者共済生活協同組合連合会島根県本部理事長
いしはら たかこ 石原 孝子	松江エネルギー研究会代表 環境省環境カウンセラー
かめぎ こうへい 亀城 幸平	松江市鹿島町古浦自治会長
そがべ くにひさ 曾我部 國久	島根大学名誉教授(理学博士) 出雲科学館名誉館長
まえだ こうじ 前田 幸二	山陰中央新報社特別論説委員
みよし みやこ 三好 美弥子	フリーアナウンサー

2. 一般有識者

（50 音順，敬称略）

氏名	役職等
うおざき ひろみ 宇於崎 裕美	広報コンサルタント 有限会社エンカツ社社長 財団法人総合安全工学研究所参与
しゅとう ゆき 首藤 由紀	株式会社社会安全研究所代表取締役所長
なかやち かずや 中谷内 一也	同志社大学心理学部教授（社会心理学）
ひくち はるひこ 樋口 晴彦	失敗学会理事 危機管理システム研究学会常務理事
ますだ あけみ 増田 明美	スポーツジャーナリスト 大阪芸術大学教授